

東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター教員の公募

東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンターでは、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。熱意と意欲のある方はぜひ応募下さい。

1. 公募人員：

教授、准教授、助教のうち若干名

2. 所属：

東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター

3. 専門分野：

スピントロニクス材料・スピントロニクス素子の研究開発、及び、その集積化プロセスの研究開発から、スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した革新的な省エネルギー論理集積回路の回路・アーキテクチャ、及び、その設計ツール（CAD・TCAD）の研究開発。

4. 職務：

- (1) スピントロニクス材料の研究開発
- (2) スピントロニクス素子の研究開発
- (3) スピントロニクス素子とCMOS集積回路の集積化プロセスの研究開発
- (4) スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した回路・アーキテクチャの研究開発
- (5) スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した回路・アーキテクチャ設計のための設計ツール（CAD・TCAD）の研究開発

5. 応募資格：

博士の学位を有する者、あるいは着任までに取得見込みの者。

6. 応募期間：

平成22年 5月20日から平成22年 7月20日まで

上記日を締切としますが、選考は適任者が見つかるまで続けます。従って、締切日を過ぎても応募を受け付ける場合があります。

7. 着任時期：

可能な限り早い時期。

8. 任期：

平成24年 3月末日まで。

ただし、最先端研究開発支援プログラム期間終了時（平成26年3月末日）まで、業績により更新可能である。

9. 提出書類：

- (1) 履歴書（高卒以降、学歴、職歴、写真貼付、書式自由、連絡先を明記）

- (2) 研究・開発業績リスト（論文、総説、報告書、国際会議プロシーディングス、特許、学会発表要旨集、受賞、学会・社会における活動状況、外部資金獲得状況、その他）
- (3) 主な原著論文（5編）の別刷りまたはコピー、およびその概要
- (4) 主要な国際会議プロシーディングスや学会発表（5編）の別刷りまたはコピー、およびその概要
- (5) これまでの国内外での活動（2000字以内）
- (6) 今後の計画、抱負（2000字以内）
- (7) 応募者について意見を伺える方（2名）の氏名・所属・連絡先

※書類は、表に「省エネルギー・スピントロニクス論理集積回路の研究開発」教員応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留とすること。

応募書類は、特に申し出のない限り返却しませんので、ご了承下さい。

10. 選考方法：

書類による審査の後、面接もしくはプレゼンテーションをお願いすることがあります。そのための交通費や滞在費などは応募者の負担とします。

11. 書類送付・問合せ先：

〒980-857 仙台市青葉区片平2丁目1-1

東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター
センター長 大野 英男

電話：022-217-5553 Fax：022-217-5553 E-mail：ohno●riec.tohoku.ac.jp

（注 メールで問い合わせる場合は、●を@に入れ替えて下さい。）

12. 参考：

（東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンターの概要）

本センターは、最先端研究開発支援プログラム「省エネルギー・スピントロニクス論理集積回路の研究開発」において、次世代半導体分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、低炭素・省エネルギー社会の実現に貢献することを目的とし、スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した革新的な省エネルギー論理集積回路を開発するとともに、その技術に係る産学連携拠点の構築を図るため設置しました。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

・東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター

（URL： <http://www.csis.tohoku.ac.jp/japanese/>）

（男女共同参画について）

東北大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。

子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記URLをご覧ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo>